



さまざまな工夫で継続 イベント続々開催

【大崎上島町】大串桜道 不法投棄撤去事業
大崎上島町公衛協が昨年度から取り組んでいる美化活動のひとつに「大串桜道不法投棄撤去事業」があります。この事業は、当会の昨年度のコミュニティ活動助事業を充ててスタートしました。今年度は、専門研修「企画づくりコース」で継続性や町内の協力体制の拡大について企画を行い、よりパワーアップして、2月11日に開催されました。

【府中市】水辺クリーンウォーキング
12月11日、府中市と府中市公衛連が水辺クリーンウォーキングを開催し、約50人が参加しました。

【府中市】緑の仲間フェスタ・ふちゅう環境の集い
2月11日、府中脱温暖化市民協議会が第10回「緑の仲間フェスタ・ふちゅう環境の集い」を開催しました。

【府中町】緑の仲間フェスタ・ふちゅう環境の集い
2月11日、府中脱温暖化市民協議会が第10回「緑の仲間フェスタ・ふちゅう環境の集い」を開催しました。



昨年に引き続き不法投棄ごみを撤去/大崎上島町(上)、クイズに答えながら水辺クリーンウォーキング/府中市(中)、人気の牛乳パック工作/府中町(下)

当日は、地元高校生21人を含む55人が参加。警察官や町会議員なども参加し、2時間わたって汗を流し、軽トラック11台分のごみを集めました。

この取り組みは、多くの住民に水辺環境の現状を認識してもらい、身近な環境と自分たちの活動のつながりを見直してもらおうと企画され、今回で21回目となりました。

午後、町内5つの小学校の児童による環境学習「キッズ環境調査プロジェクト」の発表が大アリーナで行われました。また、府中町公衛協が牛乳パック工作や廃油せつけんブース展示を行ったほか、エコイズフリーが行われ、延べ1千300人の来場者でにぎわいました。

「水道法」の第5条をみると、「安全な水」を「必要だけ提供すること」が読み取れます。安全な水が求められた背景を少しお話ししましょう。

「水道法」の第5条をみると、「安全な水」を「必要だけ提供すること」が読み取れます。安全な水が求められた背景を少しお話ししましょう。

「水道法」の第5条をみると、「安全な水」を「必要だけ提供すること」が読み取れます。安全な水が求められた背景を少しお話ししましょう。

「水道法」の第5条をみると、「安全な水」を「必要だけ提供すること」が読み取れます。安全な水が求められた背景を少しお話ししましょう。

「水道法」の第5条をみると、「安全な水」を「必要だけ提供すること」が読み取れます。安全な水が求められた背景を少しお話ししましょう。

水道のお話

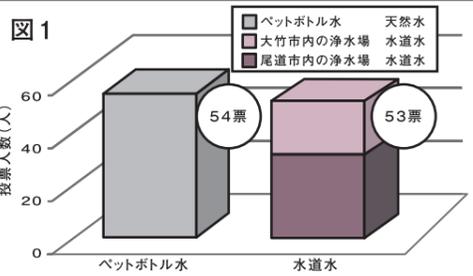
③ 水道水とおいしい水とは

とともに水や食べ物も感染源とするコレラや腸チフスがたびたび流行し、死者が10万人を超えたこともありました。感染症の脅威へ対抗するため、公衆衛生の向上と生活環境の改善を目的として、水道の普及が推し進められ、我が国最初の近代水道が、1887年横浜市で給水を開始しました。

安全でおいしい水道水

か。答えは「NO」です。おいしいと感じるためには、ある程度のミネラル分が溶け込んでいることが大切です(表1)。

蒸発残留物	(30~200mg/L)
硬度	(10~100mg/L)
遊離炭酸	(3~30mg/L)
過マンガン酸カリウム消費量	(3mg/L以下)
臭気度	(3以下)
残留塩素	(0.4mg/L以下)
水温	(10~15℃)



今回はノロウイルス食中毒について紹介します。わが国の近年の食中毒患者数の約半分は、ノロウイルスによるものです。このうち7割は11月~2月に発生しています。

環境協の環境生活センター
⑥ 食品衛生課

ノロウイルス食中毒に注意

しっかり手洗い!食中毒予防



今回はノロウイルス食中毒について紹介します。わが国の近年の食中毒患者数の約半分は、ノロウイルスによるものです。このうち7割は11月~2月に発生しています。本シーズンの感染症発生動向調査における感染性胃腸炎患者数は、直近5年間で最も流行した平成24年のピーク時に迫る水準となっており、今後も注意が必要です。

ノロウイルスに感染すると、約24~48時間で、吐き気、下痢、おうと物、腹痛などの胃腸炎や軽度な発熱などの症状を引き起こします。通常1~2日で治癒すると言われていますが、治癒後も排便時などに体外へ排出されることが知られています。感染力は非常に高く、ウイルス粒子が10~100個で感染・発病する場合があります。

感染経路としては、感染した人のふん便・おうと、それらに接触した手指等を介して経口で感染します。そのため、ウイルスに汚染された手指で調理した食事を取ることにより、感染の危険が伴います。ま

た、ウイルスが空気中に飛散して感染が起こることもあるため、おうと物の処理などには注意が必要です。予防対策としては、以下の点が挙げられます。

- 排便後の食事の手洗いをしっかり行う。
- 食材は十分に加熱する。
- 感染者の便やおうと物の処理は、使い捨ての手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウム水溶液で消毒を行う。

特に家庭での対策としては、加熱調理が効果的です。調理する食品の中心部が85~90℃で90秒以上の加熱条件が推奨されています。

また、手洗いをする場合は、洗剤による手洗いと流水で洗い流す工程を2回繰り返すと、効果的にウイルスを除去できることが知られています。

ノロウイルス食中毒は、空気が乾燥する冬に増加する傾向にあります。対処法を確認して、感染しない生活習慣を身につけましょう。

「おいしい水」を水道水に期待する声が大きくなり、水道局ではオンが推し進められ、我が国最初の近代水道が、1887年横浜市で給水を開始しました。

近年では水道を利用している皆さんから、「おいしい水」を水道水に期待する声が大きくなり、水道局ではオンが推し進められ、我が国最初の近代水道が、1887年横浜市で給水を開始しました。

近年では水道を利用している皆さんから、「おいしい水」を水道水に期待する声が大きくなり、水道局ではオンが推し進められ、我が国最初の近代水道が、1887年横浜市で給水を開始しました。

「おいしい水」を水道水に期待する声が大きくなり、水道局ではオンが推し進められ、我が国最初の近代水道が、1887年横浜市で給水を開始しました。

近年では水道を利用している皆さんから、「おいしい水」を水道水に期待する声が大きくなり、水道局ではオンが推し進められ、我が国最初の近代水道が、1887年横浜市で給水を開始しました。

近年では水道を利用している皆さんから、「おいしい水」を水道水に期待する声が大きくなり、水道局ではオンが推し進められ、我が国最初の近代水道が、1887年横浜市で給水を開始しました。

「おいしい水」を水道水に期待する声が大きくなり、水道局ではオンが推し進められ、我が国最初の近代水道が、1887年横浜市で給水を開始しました。

近年では水道を利用している皆さんから、「おいしい水」を水道水に期待する声が大きくなり、水道局ではオンが推し進められ、我が国最初の近代水道が、1887年横浜市で給水を開始しました。

近年では水道を利用している皆さんから、「おいしい水」を水道水に期待する声が大きくなり、水道局ではオンが推し進められ、我が国最初の近代水道が、1887年横浜市で給水を開始しました。